

アップル (AAPL)

iPhone および米国売上が対前年比回復。24年1Qでの年末商戦結果に期待。アップストア課金を巡る判決の影響がリスク。

ナスダック | IT通信機器 | 業績フォロー

BLOOMBERG AAPL:US | REUTERS AAPL.OQ

業績サマリ：直近の23年9月期通期業績（23年11月2日発表）は減収減益となった。売上高が前年比2.8%減の3,960億USD、営業利益は同4.3%減の1,140億USD、当期純利益は2.8減の960億USDで着地。4Q単体では売上高は前年同期比3.4%減、純利益は同6.4%減の減収減益となった。一方でiPhoneの4Q単体売上は同2.8%増であり、9月後半に販売開始となったiPhone15シリーズの好調を示唆している。またアプリ売上やサブスクリプションサービス含むソフトウェア収益は通期一貫して成長しており、利益率改善に貢献している。地域別での4Qの売上高実績では前年同期比で米国が回復、前四半期比では中国を除く全地域が売上の回復を見せた。

事業状況：昨年9月に発売・発表となったiPhone15シリーズに加え、iMacやMacBook Proなどを最新チップであるM3シリーズで更新して11月中に発売。24年1Q（23年10-12月）の年末商戦の売上実績に加わる見込みである。Apple Vision Proは今年2月に米国での発売を予定（予約を開始）。日本円で50万円を超える同製品の米国外での販売開始は現在未定である。

投資論点・リスク：iPhone用半導体チップを受託製造する台湾のTSMCは1月18日に4Q決算（10-12月）を発表。23年4Q単体売上において、HPC（ハイ・パフォーマンス・コンピューティング）向けとスマートフォン向け売上が前四半期比で各々**17%と27%増加**。またiPhone向けと思われる3nm回路幅のチップが売上の15%を占めており、同社の4Qにおける売上回復を支えている。これは昨年9月から投入されたiPhone15の好調さを示唆する好材料とも言える。

iOSのアプリ課金を巡る米エピックゲーム社との訴訟にて、連邦最高裁がアップルの上訴を退けたことが報道された。今後アップルはストア外での課金購入を米国内にて許容することが要求される可能性があり、アプリ販売や課金に対して徴収してきた30%もの手数料による収入について、今後減収の可能性がある。

一方で決済の安全や詐欺防止についてiOSプラットフォームが消費者便益に対して果たしてきた役割から、影響が軽微に終わる可能性も考慮すべきだろう。

四半期業績推移	23/9/1Q	23/9/2Q	23/9/3Q	23/9/4Q	24/9/1QF
売上高 (百万USD)	117,154	94,836	81,797	89,498	117,970
当期利益 (百万USD)	29,998	24,160	19,881	22,956	29,486
希薄化後EPS (USD)	1.88	1.52	1.26	1.46	2.11
中間配当 (USD)	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24

通期実績推移	2020/9	2021/9	2022/9	2023/9	2024/9F
売上高 (百万USD)	274,515	365,817	394,328	383,285	396,328
売上総利益(百万USD)	104,956	152,836	170,782	169,148	179,358
粗利率 (%)	38.23	41.78	43.31	44.13	45.26
営業利益 (百万USD)	66,288	108,949	119,437	114,301	121,292
営業利益率 (%)	24.15	29.78	30.29	29.82	30.60
当期利益 (百万USD)	57,411	94,680	99,803	96,995	101,191
希薄化後EPS (USD)	3.28	5.61	6.11	6.13	6.63

引用：企業公表値、ブルームバーグ (Fはブルームバーグ予想値)

フィリップ証券株式会社・リサーチ部

三角友幸

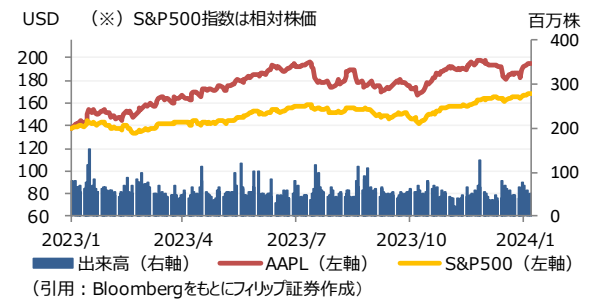
TEL : +81 3 3666 0707 (直通)

E-mail : tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

予想配当 (USD)	1.00
株価 (USD)	194.50
実績 PER (倍)	31.78
予想 PER (倍)	29.34
時価総額 (10億 USD)	3,007
企業価値 (10億 USD)	2,969
3ヵ月平均売買代金 (百万USD)	10,176
* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は1/24日終値による	

会社概要
1977年創業のPCを中心としたIT機器販売を行う企業。1980年ナスダック上場。2007年にiPhoneを発売して以降、同製品が収益の柱となる。MacやiPad等の製品ほか、iCloudや動画・音楽の有料サブスクリプション、Appストア手数料を含むサービス事業が収益軸である。

株価推移



23/9/4Q 地域別売上 (百万USD)	QoQ	YoY
北米・中南米市場	13.4%	0.8%
ヨーロッパ・中東・インド・アフリカ	11.2%	-1.5%
中国圏 (香港・台湾含む)	-4.3%	-2.5%
日本	14.2%	-3.4%
その他アジア (オーストラリア含む)	12.5%	-0.7%

23/9/4Q 製品別売上 (百万USD)	QoQ	YoY
iPhone	10.4%	2.8%
Mac	11.3%	-33.8%
iPad	11.3%	-10.2%
ホーム・ウェアラブル・アクセサリ	12.5%	-3.4%
ソフトウェア・サービス事業	5.2%	16.3%

引用：企業公表値

新製品・サービスなど	カテゴリ	発表	発売
Apple Vision Pro	ウェアラブル	23/6	24/2
iPhone 15/15Pro/15Max	スマートフォン	23/9	23/9
iMac 24インチ (M3チップ)	PC	23/10	23/11
MacBook Pro (M3チップ)	PC	23/10	23/11
Apple Pencil	アクセサリ	23/10	23/11
M3/M3 Pro/M3 Max	PC用チップ	23/6	--
MacOS Sonoma	ソフトウェア	23/6	23/9
iPadOS 17	ソフトウェア	23/6	23/9
tvOS 17	ソフトウェア	23/6	23/9

引用：企業プレスリリース (Apple Vision Proの発売日は米国のみ)

利益還元推移	21/9	22/9	23/9
自社株買い総額 (百万USD)	85,500	90,200	76,600
配当総額 (百万USD)	14,447	14,594	14,800
DPS (USD)	0.87	0.90	0.94

引用：企業公表値、ブルームバーグ

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>
本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 三角 友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。